



戦争法案ストップ

安倍暴走ノ

9月6日の選挙

県議会議員

斉藤 信

●1951年盛岡市住吉町生まれ。大船渡高校、岩手大学工学部卒。●県議5期、党県副委員長。●趣味は卓球(インターハイ出場)



志位和夫

幹部会
委員長・
衆院議員

来る

8月29日・正午
JR盛岡駅前

憲法が壊され、自分たちの生き方が無理矢理変えられようとしているときに、声をあげるのは普通だと思います。(21歳学生)



戦争に行かせるために、この子を産んだんじゃない。なぜあのとき反対しなかったのかと、後悔したくないです。(20代ママ)

党派をこえてみなさんと力あわせ
憲法と平和を守りぬきます

県議会議員 斉藤信

衆議院につづき参議院でも安保法制Ⅱ戦争法案の強行採決を狙う安倍内閣にたいし、若者、女性、戦争体験者、学者・研究者を先頭に、「戦争反対」「憲法を守れ」「独裁許すな」の声が空前の規模で広がっています。

いま、戦争法案「今国会成立反対」は6割をこえ(8月16日「岩手日報」)、自民党支持層の3割、公明党支持層の5割が、今回の戦争法案は「憲法違反」だと答えています(7月6日「毎日新聞」)。

政治を動かすのは、世論、国民の声です。私は、こうした「憲法守れ」の声をあげているみなさんと協力し、戦争法案を廃案に追い込むためにがんばりぬきます。

県議会で「安保関連法案の廃案を求める意見書」を可決。盛岡区選出の自民党(2人)、公明党(1人)、いわて県民クラブ(1人)は廃案に「反対」。これらの党・会派を支持することは、戦争法案に手を貸すことになります。

新もりおか

2015年8月号外

発行:日本共産党盛岡地区委員会
盛岡市三ツ割1-9-1 電話 019-661-1141
●日本共産党の政策をご紹介します。

日本共産党